

とましんビジネス交流ネットワーク 一企業紹介一

有限会社 苫小牧圧送	〒059-1275 苫小牧市字錦岡 184 番地7
代表者：専務取締役 太田 隆紀	業種：コンクリート圧送工事
担当部署（者）様：専務取締役 太田 隆紀	URL：http://
TEL 0144-67-1292 FAX 0144-67-7072	E-mail: t-k-f-i@amber.plala.or.jp

当社は苫小牧市内で生コンの打設工事を営んでおります。その際に使用するコンクリートポンプを改良し、粘度の高い液体から比重の軽い粉末までの吸引・圧送を可能にしました。それにより、海難事故の流出油の回収や、液化ガスの分離装置や貯蔵施設の保温工事など、危険で時間の掛かる作業の機械化に成功したものである。

災害時の自然保護や、地球温暖化対策である水素生産や、生活に必要な天然ガス・酸素や水素・レアガスのプラントの建設・維持コストの削減に役立つ技術として事業化を進めております。

苫小牧市は日本で数少ない天然ガス生産地であり、製紙・製鉄・電子機器・自動車でも多くのガスを使用します。近隣市町村・北海道の産業にも大きく貢献できると思います。

海難事故での流出油の回収状況



配管状況、左舷前方より
ポンプ車に向かい艦橋より
撮影

ポンプ車で回収



座礁している貨物船、スクリューが水面より
上に確認できる。
ポンプ車側から船舶左舷側を撮影

プラントメンテナンス



日北酸素 苫小牧にて
パーライト 充填作業の
様子

深冷分離装置（通称コールドボックス）への保冷剤の充填作業

分離装置とは空気やガスより必要な酸素・水素・ヘリウムなどを取り出す。

保冷材は微粉末のパーライト

従来はクレーンで一袋ずつ吊り上げて人力で投入、それにより転落死亡事故が多い。

今後、温暖化対策として水素エネルギー・燃料電池に必要な水素の分離抽出・保管に、必要な技術である。

この方法だと、従来の方法より安全で低コスト（60%削減）な上に、環境にも良く工期の短縮にも効果がある。

<主要取扱商品>

コンクリート圧送工事、ガス・石油プラント保温材抜き取り・充填、流出油・汚泥等の回収・圧送